

阿賀野市農業技術情報

No.4 令和5年 12月号
阿賀野市農業振興協議会

令和5年産米の作柄と次年度対策

1 令和5年産米の作柄と品質の概況

阿賀野市の令和5年産の作柄は、早生・中生・晩生品種とも平年よりやや少ない収量と推定されますが、調製による品位確保の結果、作況指数95となりました。

品質は従来の恒常的な風に加え、本年は、出穂期以降の高温やフェーンによる温風や乾燥、少雨の影響を受け、背白、心白等の白未熟粒、その他未熟粒の発生が助長され、不良となりました。

斑点米による格落ちは、今年も早生品種を中心にコシヒカリや新之助でも確認されました。しかし、格落ち数量は近年比少なく、雑草防除や共同防除等の効果で、発生が減少したと推測されます。

表1 作柄概況と1等級比率(10月末現在)

作況指数	品質 (やや不良)	区分	1等級比率(%)		
			コシヒカリ	こしいぶき	全品種
下越	95	あがのアグリセンター管内	0.1	0.0	8.9
新潟県	95	ささかみアグリセンター管内	0.0	0.1	3.0
全国	101	阿賀野市全体	0.0	0.0	6.6

※飼料用米を除く
※CE分を除く

2 収量構成要素から見た作柄や品質に影響した主な事項

穂数
早生：やや少～並
中生：やや少～並
晩生：並～やや多

一穂粒数
早生：並～やや多
中生：並～やや多
晩生：並

m²粒数
早生：並
中生：並～やや多
晩生：並～やや多

作況指数 95 (下越)
玄米量 526kg/10a (1.85籾目収量)

※作況指数：北陸農政局令和5年11月10日公表10/25現在

登熟
早生：並～やや良
中生：並～やや良
晩生：やや良

千粒重
早生：やや小
中生：小～やや小
晩生：やや小

品質
早生：不良
中生：不良
晩生：やや不良～並

- 苗質：並～やや不良
・高温障害(ヤケ苗)：少、病害(ばか苗、ムレ苗)の発生：やや多
・苗は播種後の高温多照で生育が進み、一部で老化傾向
- ワキ、アオミドロの発生：並
- 初期生育：並(地域差あり)
・ダン風の影響を受けたほ場、深植え、深水管理のほ場は、初期生育遅れる
- 最高分けつ期の茎数：やや多い～多い
・6月2半旬以降の高温で分けつ急増
・稲の生育の進みに併せて概ね適期での中干しの実施。初期生育の遅れたほ場は遅めの傾向
- 6月中旬以降の高温、6月1半旬、7月3半旬の多日照で生育進む
- 6月下旬から、急激に葉色低下
・分施肥系では適期適量の2回穂肥、全量基肥施肥では追肥の実施 → 葉色回復
- 出穂期以降の高温・少雨、恒常的な風に加え、フェーンによる温風
- 登熟期間が高温で経過し、短期間で成熟期を迎えた
- 7月4半旬～9月3半旬までの高温多照により、登熟向上、くず米減少。ただし、小粒化
- ダン風の影響並
- 8月10日、15日の風、8月28日の降雨により、稈長が長いコシヒカリや、早生品種では施肥ムラ等で生育旺盛なほ場内の一部で徐々に倒伏が進む
- 9月2半旬以降、断続的な降雨で収穫が長期化、一部で倒伏拡大
- 斑点米カメムシ類は、概ね適期に防除実施、早生品種を中心に斑点米被害がみられる

問題となった事項

・土づくり資材の施用率が低い
・除草剤の田植え同時散布で薬害発生やや多い
(ほ場の均平、処理後の水管理、アオミドロ対策)

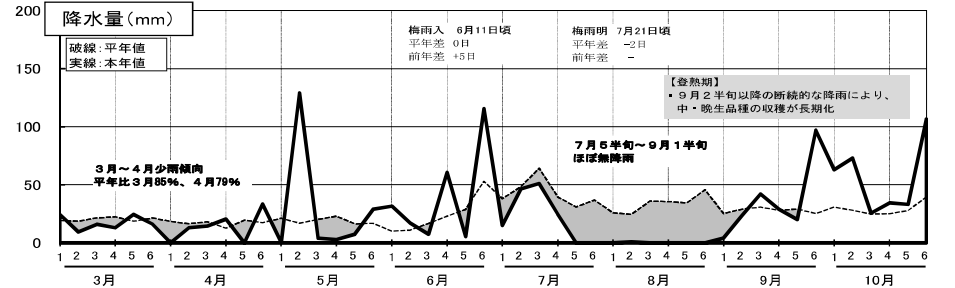
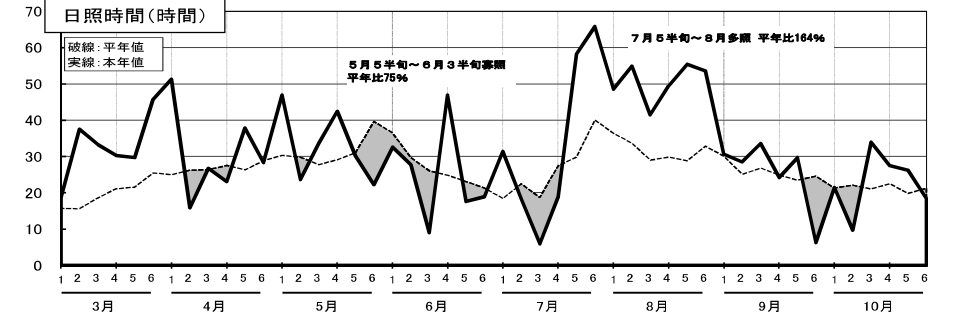
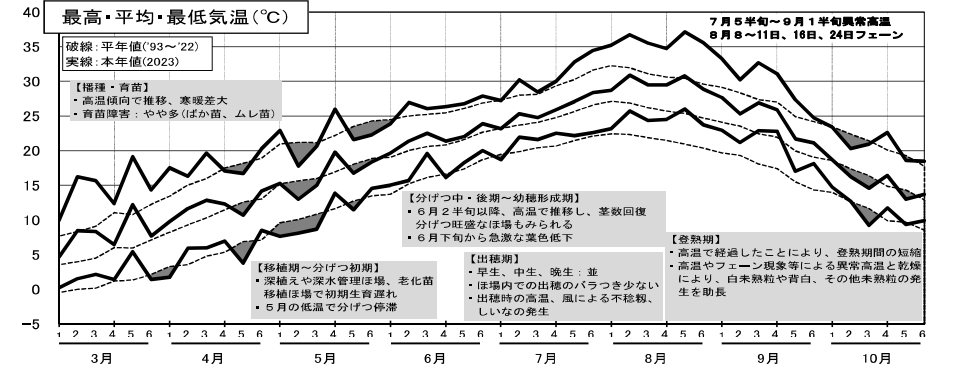
・中干し開始の遅れ
・中干し後の雑草多発生(ヒエ、クサネム等)

・全量基肥施肥で、追肥なし(後期栄養不足ほ場あり)
・気象変動(高温・強風等)に対する緩衝力の低下

・登熟期間中の飽水管理の不徹底
・登熟期間短縮による収穫適期の判断が遅い(刈り遅れ)

・斑点米カメムシ類防除時期のズレ

3 令和5年度稲作期間の気象図 観測場所：新発田市農業サポートセンター(新発田市下羽津)

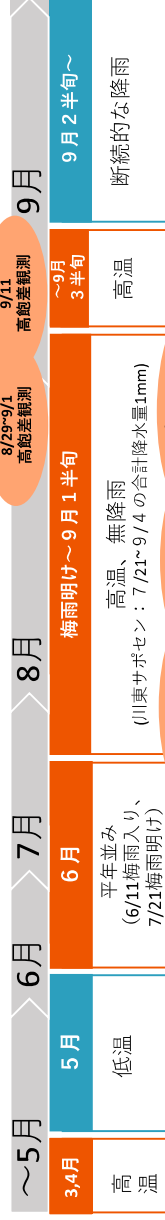


4 次年度に向けた課題と対策「気象変動に負けない稲づくり」

- 初期生育を促進し良質茎を安定確保
 - ・丁寧な耕耘と均平な代かき
 - ・健苗の育成と適期移植
 - ・田植え後の水管理徹底(初期生育確保、除草剤の薬害防止等)
- 災害(高温・強風)に備えた適正な施肥(栄養供給)と土づくり
 - ・気象変動に負けない栄養供給(ケイ酸資材や堆肥等の施用)
 - ・稲の生育、異常気象に応じた、3回目の穂肥や追肥の検討(後期栄養の確保)
- カメムシ防除等の徹底
 - ・共同防除+個人防除(適期防除)の徹底(早生だけでなく、多発生地域はコシヒカリでも実施)
 - ・ほ場内及びほ場周辺のイネ科雑草の草刈り徹底

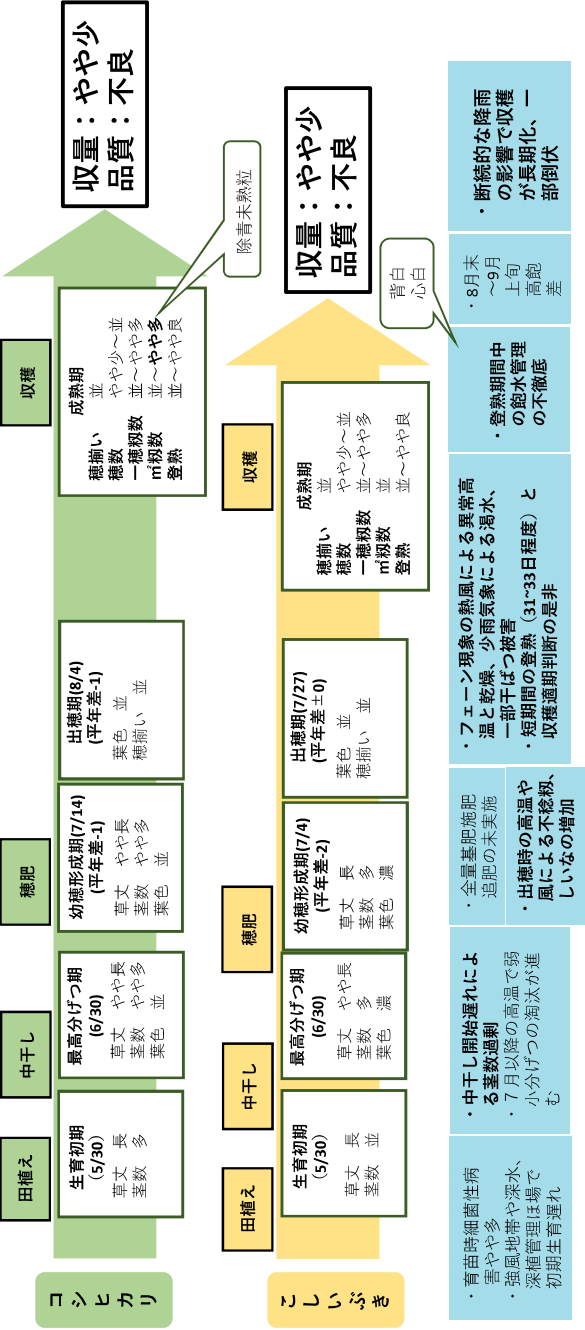
阿賀野市作物・品質要因(暫定版・11月末現在)

※数値は新潟県田舎高センター調べ
生育調査(作付年度)収量調査(半年別)
気象は阿賀野市ポータルセンター観測、
観測は日平均



+ 要因

・大きな台風の影響で倒伏少
被害なく倒伏少



一 要因

農業を経営する皆様へ

「収入保険」は、 様々なリスクから農業経営を守ります！

加入者の声をご紹介します！

予想外の事態も安心の備え！

新潟県村上市 株式会社貝沼農場 代表取締役 貝沼 純さん(48)
水稲47畝、そば13畝、他、加工品

収入保険には制度開始初年度から加入しました。新型コロナの影響による価格低下といった予想外の事態で収入が減少しましたが、保険金を受け取り本当に助かりました。
昨年も甚大な水害に見舞われるなど、農業は何か起きるかわかりませんので、経営安定のために収入保険は心強い味方です。



加入できる方

青色申告を行っている農業者（個人・法人）です。

- ※ 保険期間開始前に加入申請を行います。
- ※ 保険期間の前年1年分の青色申告（簡易な方式を含む）実績があれば加入できます。
- ※ 収入保険と、農業共済、ナラシ対策、野菜価格安定制度などの類似制度については、どちらかを選択して加入します。
- ◎ 現在、当分の間の特例として、野菜価格安定制度の利用者が初めて収入保険に加入する場合、最初の2年間、収入保険と野菜価格安定制度を同時利用できます。（令和3年から同時利用されている方は最初の3年間、同時利用が可能）
 - ※ 同時利用される方は、収入保険の保険料等と野菜価格安定制度の生産者の負担金の両方を支払います。
 - ※ また、収入保険の保険期間中に、野菜価格安定制度の補給金を受け取った場合、収入保険の補填金の計算上、その金額を控除します。

収入保険に関心のある方はNOSAIにお問合せください。

新潟県農業共済組合 下越支所 0254-33-3902